

毎週土曜日 午前 11:00 ~ ほか

2009 年 03 月

「裁判員制度って何？」

お話：池上 彰氏（ジャーナリスト）

今年の 5 月からいよいよ裁判員制度がスタートしますが、その制度についてまだわからないことが多いと感じていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。今回は、ジャーナリストの池上彰さんをスタジオにお迎えして、裁判員制度についてわかりやすく解説をして頂きます。

池上 彰（いけがみ あきら）

（略 歴）

1950 年、長野県生まれ。

NHK に記者として入局し、様々な事件、災害、教育問題、消費者問題などを担当。また、1994 年から 11 年間にわたり「週刊こどもニュース」のお父さん役として、わかりやすく、丁寧な解説に子どもだけでなく大人まで幅広く人気を得た。現在はフリーのジャーナリストとして活躍している。

< 著 書 >

『世界一ニュースがわかる本 オバマ政権と金融危機編』2008 年、毎日新聞社

『そうだったのか！日本現代史』2008 年、集英社

『そうだったのか！ニュース世界地図 2009』2008 年、集英社 他

2009 年 02 月

「團十郎の歌舞伎への招待」

お話：十二代目 市川 團十郎氏（歌舞伎役者）

日本を代表する伝統芸能、歌舞伎。大好きでよく観に行くという方もいる一方で敷居が高くて...と敬遠される方もいるのではないのでしょうか？今回は、2007 年にパリのオペラ座で公演をして大成功を収めるなど、今なお第一線で活躍を続けている十二代目市川團十郎さんをスタジオにお迎えして、歴史を越えて人々を魅了する歌舞伎の魅力について伺います。

市川 團十郎（いちかわ だんじゅうろう）

（略 歴）

1946 年東京都生まれ。日本大学芸術学部卒業。1953 年市川夏雄と名乗り歌舞伎座で初舞台。

その後、六代目市川新之助、十代目市川海老蔵、江戸歌舞伎最高位の名跡である十二代目市川團十郎を襲名。日本芸術院賞、菊池寛賞など受賞多数。2007 年には紫綬褒章を受章。

< 著 書 >

『團十郎の歌舞伎案内』2008 年、小学館 他

2009 年 01 月

「ツバルに地球の未来を見る」

お話：山本 敏晴氏（医師・写真家）

地球温暖化による環境破壊が問題となっていますが、どれほど深刻なものなのか、また今後どういふ事態が予想されるのか、興味をお持ちの方も多いと思います。今回は、医師・写真家の山本敏晴さんをスタジオにお迎えして、温暖化で将来沈んでしまうとされている南の島、ツバルの現状から見えてくる地球の未来などについてお話を伺います。

山本 敏晴（やまもと としはる）

（略 歴）

1965 年生まれ。宮城県出身。

12 歳の時、南アフリカ共和国の人種差別問題を目の当たりにして以来、70ヶ国以上に及ぶ国々を訪問、様々な国際協力団体に所属し、医師・写真家として活動している。2003 年、自らの団体を設立し、2004 年、NPO 法人「宇宙船地球号 Earth the Spaceship (ETS)」として認証される。

< 著 書 >

『地球温暖化、しずみゆく楽園ツバル』2008 年、小学館 『国際協力師になるために』2007 年、白水社 他

2008 年 12 月

「山田香織の盆栽のある暮らし」

お話：山田 香織氏（盆栽家）

趣味が盆栽、若しくはご主人がやっているという方も多いと思いますが、最近女性にも人気があるのをご存知でしょうか。盆栽家の山田香織さんは、テレビ、出版講演などを通して盆栽のイメージ向上と女性向け盆栽の普及に努めています。今回は、山田香織さんを埼玉県の盆栽村にある「清香園」に訪ねて、盆栽の魅力などについて伺います。

山田 香織（やまだ かおり）

（略 歴）

埼玉県生まれ。立教大学経済学部卒業。

江戸時代から四代続く盆栽園の一人娘として生まれ、幼少の頃より盆栽や草花に親しむ。大学在学中に「彩花」流盆栽の教室を設立。

< 著 書 >

『山田香織の暮らしを彩るモダン盆栽』2008 年、講談社 『山田香織の小さな盆栽づくり』2007 年、主婦の友社 『山田香織の盆栽スタイル』2007 年、日本放送出版協会 他

2008 年 11 月

「エビから読み解く日本の食文化」

お話：村井 吉敬氏（早稲田大学教授）

食品の安全性に注目が集まっていますが、村井吉敬さんは輸入食材の一つであるエビから日本人の食文化を見守っています。今回は、早稲田大学教授の村井吉敬さんをスタジオにお迎えして、日本人とエビの関わりなどについてお話しを伺います。

村井 吉敬（むらい よしのり）

（略 歴）

1943 年 千葉県生まれ。早稲田大学政経学部卒業。

< 著 書 >

『エビと日本人』2007 年、岩波書店、『グローバル化とわたしたち』2006 年、岩崎書店 他

2008 年 10 月

「杉原輝男のアンチエイジング法」

お話：杉原 輝雄氏（プロゴルファー）

いつまでも若々しく現役で活躍したい。そう願っても実現するのはなかなか難しいものです。杉原輝雄さんは、プロゴルフという勝負の世界で 70 歳を過ぎても若手に引けを取らずに現役で活躍されています。今回は、プロゴルファーの杉原輝雄さんをスタジオにお迎えして、長年にわ

たって現役を続けられる健康維持法や人生哲学などについて伺ってまいります。

杉原 輝雄（すぎはら てるお）

（略 歴）

1937年生まれ。大阪府出身。中学校を卒業後、茨木カンツリー倶楽部で修行、1957年にプロ入りし、1962年の日本オープンで初勝利をあげた。以来、日本ツアー、海外ツアー、シニアツアー、ゴールドシニアで勝利をあげている。1998年に前立腺がんであることを公表。70歳代に突入した今もレギュラーツアーに出場し続けている。

< 著 書 >

『ゴルフ人生50年、いまだ道なかば』2008年、学習研究社、『生涯現役』2008年、角川SSコミュニケーションズ、『逆発想のゴルフ』2000年、徳間書店 他

2008年09月

「玉村豊男の田舎暮らし体験記」

お話：玉村 豊男氏（エッセイスト・画家）

今、定年を迎える団塊の世代を中心に田舎暮らしへの関心が高まっています。

玉村さんは田舎暮らしを長年経験しており、エッセイストや画家、農園の経営など様々な分野で活躍をされています。今回は、玉村豊男さんを長野県東御市にある「ヴィラデスト・ガーデンファーム・アンド・ワイナリー」にお訪ねして、東京生まれの玉村さんが田舎に移り住んで見えて来た“自然に囲まれて過ごす意義”などについて伺ってまいります。

玉村 豊男（たまむら とよお）

（略 歴）

1945年、東京都生まれ。東京大学仏文科卒業。

1977年『パリ、旅の雑学ノート』1980年『料理の四面体』をはじめ、旅、料理、食文化ほか幅広い分野で執筆活動が続ける。2004年『ヴィラデスト・ガーデンファーム・アンド・ワイナリー』開設。画家としても活躍し、2007年箱根に『玉村豊男ライフアートミュージアム』開館。

著書

『里山ビジネス』2008年、集英社、『田舎暮らしができる人できない人』2007年、集英社 他

2008年08月

「中村征夫の海へのいざない」

お話：中村 征夫氏（水中写真家）

一瞬を切り取る写真。一枚の写真に魅了された、忘れられない写真がある...そういう方も多いのではないのでしょうか。水中写真の第一人者である中村征夫さんの作品は、その独特の世界観で注目を浴びています。今回は、水中写真家の中村征夫さんをスタジオにお迎えして、世界中の海に潜り撮影された作品を見ながら水中で起こる様々な生命の神秘、またなぜ水中写真家になられたのかなどについて伺います。

中村 征夫（なかむら いくお）

（略 歴）

1945年秋田県生まれ。20歳の時に独学で潜水と写真を始め、後に水中撮影プロダクションを経てフリーランスの水中写真家となる。現在、撮影プロダクション「株式会社スコール」代表。日本写真家協会、日本写真協会、日本自然科学写真協会会員。

著書

『海中奇面組』2006年、ベストセラーズ、『海中2万7000時間の旅』2006年、講談社、『魚が恋する海』2003年、旬報社、『DIVE』2003年、小学館、『Blue Lagoon』2003年、小学館 他

2008年07月

「六十歳からのマイホーム」

お話：天野 彰氏（建築家）

団塊世代が次々と定年を迎えています。生活のパターンが大きく変わられた方も多いのではないのでしょうか。そんな中、天野さんは夫婦で末永く・楽しく・健康に暮らしていくために60歳での家の建て替えを提案しています。今回は、建築家の天野彰さんをスタジオにお迎えして、60歳からのマイホーム作りのコツについて伺います。

天野 彰（あまの あきら）

（略 歴）

1943年愛知県岡崎市生まれ。設計事務所アトリエ4A代表。日本大学理工学部経営工学建築科卒。「家は人と同じで一軒一軒違つ。洋服の仕立て屋のように家族に合った家をつくる」をモットーに、新築、増築、減築、リフォームを手がける。テレビや講演、新聞、雑誌などを通して「住まいの健康と安全」に対しても積極的に発言している。通産省産業構造審議会委員、厚生労働省大規模災害救助研究会委員などを歴任。

著書

『六十歳から家を建てる』2007年、講談社、『建築家が考える「良い家相」の住まい』2007年、講談社、『夫婦の家』2006年、講談社 他

2008年06月

「マギー司郎のハッピーライフ」

お話：マギー司郎氏（マジシャン）

マギー司郎さんは、茨城なまりの独特な“おしゃべりマジック”で人気を博しています。お母さんとの思い出、マジックとの出会い、お弟子さん達との交流など、どのエピソードもほのぼのとしていて心温まるものがあります。

今回は、マギー司郎さんをスタジオにお迎えして、40年以上のマジシャン人生から見えてきた幸せのコツについて伺ってまいります。

マギー司郎（マギーしろう）

（略 歴）

1946年3月17日、茨城県下館市（現・筑西市）生まれ。マジックスクールで手品を学び、33歳のときに出演した『お笑いスター誕生!!』（日本テレビ系）で注目されて以来、ユーモアのセンスあふれる独特の“おしゃべりマジック”で幅広い層から人気を得ている。また、マギー審司ほか、9人の弟子を持ち、彼らから慕われる師匠でもある。

著書

『生きてるだけでだいたいOK』2007年、講談社

『読むだけで誰でもすぐに幸せになっちゃうセラピー』2007年、ロングセラーズ 他

2008年05月

「新井満の千の風物語」

お話：新井 満氏（作家・シンガーソングライター）

大ヒット曲「千の風になって」は、最愛の妻を亡くした幼友達の悲しみを癒すために新井さんが英語の原詩を翻訳し、曲を付けました。これまでも多くの人々がこの歌の持つ力によって励まされています。

今回は、神奈川県横浜市にある「三溪園」にお訪ねして新井さんによる「千の風になって」の朗読と歌の披露や曲が誕生した背景などについてお話を伺ってまいります。

新井 満（あらいまん）

略 歴

1946年新潟市生まれ。上智大学法学部卒業後、電通に入社し、在職中はチーフプロデューサーをつとめた。作家、作詞作曲家、写真家、環境映像プロデューサー、長野冬季オリンピックの開閉会式イメージ監督など、多方面で活躍中。

著 書

『自由訳 十牛図』2007年、四季社 『自由訳 老子』2007年、朝日新聞社 『お墓参りは楽しい』2005年、朝日新聞社 『朱鷺のキンちゃん空を飛ぶ』2005年、理論社 他

2008年04月

「野本陽代の宇宙への誘い」

お話：野本陽代氏（サイエンスライター・宇宙開発委員会委員）

1990年4月、アメリカ航空宇宙局 NASA がハッブル宇宙望遠鏡を打ち上げました。ハッブル望遠鏡が撮影する天体写真は、色といい、形といい、地上の望遠鏡よりはるかに鮮明なことから人々の宇宙に対する認識を大きく変えたといわれています。

今回は、野本陽代さんをスタジオにお迎えしてハッブル宇宙望遠鏡の果たした役割や宇宙への限らない思いについてお話を伺ってまいります。

野本 陽代（の も と は る よ）

略 歴

1948年東京都生まれ。慶應義塾大学法学部卒業 サイエンスライター、翻訳家 2004年より宇宙開発委員会委員（非常勤）

著 書

『宇宙はきらめく』2007年、岩波書店 『はるかな宇宙 身近な宇宙』2006年、求龍堂 『ハッブル望遠鏡の宇宙遺産』2004年、岩波書店 『ここまで見えた宇宙の神秘』2001年、講談社 他

2008年03月

「坪内ミキ子の介護日記」～ 102歳で母を看取るまで～

お話：坪内ミキ子氏（女優）

歳をとる、身体が動かなくなる、人の手を借りるといのは、誰にでも訪れるごく自然なことです。坪内さんは、母親が転倒したことをきっかけに6年間、介護に明け暮れる生活を送りました。昨年は、この体験を「母の介護」と題して介護する側のやりきれない思いやされる側の辛さを執筆しました。今回は、坪内ミキ子さんをスタジオにお迎えして、厳しくも心温まる介護体験についてお話を伺ってまいります。

坪内 ミキ子（つぼうち みきこ）

略 歴 1940年東京都生まれ。早稲田大学文学部英文科卒。

祖父は坪内逍遙、父は演劇評論家、母は宝塚一期生。大学在学中の62年に女優デビュー。映画、テレビドラマの出演作多数。クイズ番組の解答者やワイドショーの司会者としても活躍する。

著 書 『母の介護』2007年、新潮社

2008年02月

「桂三枝のわが落語人生」

お話：桂 三枝氏（落語家・上方落語協会会長）

国民的長寿番組「新婚さん いらっしやい！」の司会者でもお馴染みの桂三枝さんは、メディアア

以外にも全国各地での落語会や講演会の活動や同時翻訳付きの創作落語を海外で公演するなど精力的な活動を続けています。しかし、その一方では幼少の頃から波瀾万丈の人生を過ごしてきました。

今回は、桂三枝さんをスタジオにお迎えして、落語にかかわってきたその半生についてお話を伺ってまいります。

桂三枝（かつら さんし）

略 歴

1943年、大阪府堺市生まれ。1966年、三代目桂小文枝（故・五代目桂文枝）に入門。「歌え！ヤングタウン」でデビュー。お笑い、テレビ、舞台、映画などで活躍。創作落語のパイオニアとして文化庁芸術祭大賞、芸術選奨文部科学大臣賞などを受賞。2006年、紫綬褒章受章。

司会を務めている『新婚さん、いらっしやい！』は、日曜日のお昼、日本中のお茶の間に愛され続けて37年目を迎え、長寿テレビ番組記録更新中。

2008年01月

「東畑朝子の生涯現役法」～老化防止のコツとは～

お話：東畑 朝子氏（医学博士）

誰にとっても歳を取るといのは未知の経験です。長生きはしたいけど、健康で生きられるのか、老いてゆくというのはどういうことなのかと不安に感じていらっしゃる方もいるのではないのでしょうか。

今回は、東畑朝子さんをスタジオにお迎えして、現役で活躍されている東畑さんが実践してきたという「幸福に生きるちょっとしたコツ」についてお話を伺ってまいります。

東畑 朝子（とうはたあさこ）

略 歴 1931年、東京都に生まれる。

女子栄養短期大学を卒業し、国立中野療養所、北里研究所附属病院、東大医学部助手を経て、女子栄養大学講師、お茶の水女子大学講師をつとめる。テレビ、雑誌でフードドクターとして幅広く活躍する。

著書

『「70歳生涯現役」私の習慣』2007年、講談社 / 『二度と太らない10歳若返る本当のダイエット』2006年、講談社 他

2007年10月

「藤田まこと・いまたどる心の旅」

お話：藤田 まこと氏（俳優）

藤田さんは、テレビ、映画、舞台で役者として活躍され、シリアスな役からコミカルな役まで幅広い演技でこなし人気を不動のものにしました。芸能生活50周年を迎え、今後もますますの活躍が期待されています。

今回は、藤田まことさんをお迎えして、意外な芸能界入りのきっかけから山あり谷ありの現在までを振り返って頂き、お話を伺います。

藤田 まこと（ふじた まこと）

略 歴

1933年4月13日東京都生まれ。本名、原田眞。

高校入学後、俳優である父・藤間林太郎について旅回りをはじめ。マーキュリーレコードに所属し歌手を目指すも、コメディアンに転向し、1962年スタートのテレビでなもんや三度笠で人気を得る。「必殺シリーズ」「剣客商売」「はぐれ刑事純情派」など代表作多数。1964年第4回日本放送作家協会賞・男性演技者賞。1987年第42回文化庁芸術祭・芸術祭賞。2002

年紫綬褒章など受賞。

2007年09月

「生きるのを楽しくする38の生活習慣」

お話：メイ 牛山 氏（美容家・ハリウッド株式会社社長）

高齢化社会を迎えた現在、「健康で長生きをしたい」というのが誰もの究極の願いではないのでしょうか。96歳でありながら現役の美容家であるメイ牛山さんの健康の秘訣とは？

今回は、メイ牛山さんをハリウッドビューティプラザにお訪ねして、メイさんが長年の体験から得た、健康で楽しく生きるための生活習慣などについてお話を伺います。

メイ 牛山（めい うしやま）

略 歴

明治44年、山口県防府市に生まれる。防府市技芸女学校卒業後、昭和4年に18歳で単身上京する。3年後、ハリウッド美容講習所に入る。昭和14年、ハリウッド化粧品の創設者、牛山清人氏と結婚。ニューヨークで、ヘア技術をレオン・アムンドラー氏に、メイクをエディ・センス氏に師事し、欧米の最先端の美容技術を取り入れる。昭和33年ころから、日本の風土に合わせた美容法、食事法の重要性を説く。美容健康食の実践家でもある。

2007年08月

「我が高原 霧ヶ峰」～山小屋創業50年の思い出～

お話：手塚 宗求 氏（日本ペンクラブ会員・日本エッセイストクラブ会員）

昭和31年、手塚さんは長野県の霧ヶ峰高原車山肩に山小屋「コロボックル・ヒュッテ」を創設しました。また、霧ヶ峰の自然保護にも尽力し、作家としても多数のエッセイを執筆しています。今回は、手塚宗求さんを「コロボックル・ヒュッテ」にお訪ねして、登山ブームを陰で支えてきた50年の想いと自然の中で暮らす楽しさなどについてお話を伺ってまいります。

手塚 宗求（てづか むねやす）

略 歴

1931年、長野県松本市生まれ。松本県ヶ丘高校卒。24歳の夏、当時無人境だった信州・霧ヶ峰高原車山肩に「コロボックル・ヒュッテ」を創設し、現在に至る。2006年、山小屋創業50周年を迎える。山小屋経営の傍ら、霧ヶ峰の自然保護に尽力したほか、「高原エッセイスト」として、数多くのエッセイを著す。

2007年07月

「柳生真吾の植物のある暮らしの勧め」

お話：柳生 真吾 氏（NHKTV「趣味の園芸」キャスター・八ヶ岳倶楽部代表）

幼少の頃から父である俳優の柳生博さんと共に雑木林を造成し、1989年その土地にギャラリー＆レストラン「八ヶ岳倶楽部」をオープンされました。また、各地での講演活動やNHKTV「趣味の園芸」のキャスターを務めるなど積極的に園芸の楽しさを伝えていきます。

今回は、柳生真吾さんを山梨県北杜市にある「八ヶ岳倶楽部」にお訪ねして、植物のある暮らしの魅力についてお話を伺ってまいります。

柳生 真吾（やぎゅう しんご）

1968年東京都出身。10歳の頃から山梨県の八ヶ岳南麓に通い、父である俳優の柳生博と雑木林を造り始める。現在、八ヶ岳在住。

玉川大学農学部卒業後、花の生産農家「タナベナーセリー」で3年間勉強。89年7月から雑木林を核にしたギャラリー＆レストラン「八ヶ岳倶楽部」を、親子で運営する。2000年より

NHK「趣味の園芸」キャスターを務める。現在は講演などで全国を飛び回り、園芸の楽しさをわかりやすく伝え大好評。

2007年06月

熟年夫婦のドイツ手作り紀行

お話：伊関武夫氏 伊関光代氏

伊関さんご夫妻は、ドイツに魅了され8度もドイツを訪れています。団体で名所旧跡を巡る型通りの旅から抜け出し、定年前から「手作り」の旅を心掛けてきました。

今回は、伊関武夫さん・伊関光代さんをスタジオにお迎えして、定年後の自由旅行の楽しみ方やドイツの魅力についてお話を伺ってまいります。

伊関武夫（いせき たけお）1940年生まれ。金沢市出身。金沢大学卒業。

東芝に入社し、主に生産、調達、管理にたずさわる。10数年前の旅でドイツに魅せられる。以降、ドイツ語にチャレンジしつつ、ドイツへ旅立つこと7回。ドイツ語圏の国（スイス、オーストリア）やイタリア、ベルギーなど周辺の国を含めると渡欧12回。これらの旅で知りえたのは、人々のゆたかな心に加え、確かな世界観と人間尊重の精神であることを実感。やはり旅は刺激的であり、そして楽しい。

伊関光代（いせき みつよ）1945年生まれ。石川県松任市（現、白山市）出身。

夫婦でドイツ語を学びつつ、ドイツ及び周辺の国々へ出かけ、そのつど新しい自分発見の旅を続けている。

2007年05月

お話：高橋智隆氏（ロボットクリエイター）

高橋さんは、京都大学在学中に電磁吸着2足歩行の特許を申請、取得し、そのメカニズムを使ったオリジナルロボットを製作、発表し反響を呼びました。卒業後は、ロボットの技術開発・製作・デザインを手がけるロボ・ガレージを創業し、オリジナルロボットの製作だけでなく他企業とのコラボレーションにより、数多くのロボットを世に送り出しています。

今回は、高橋智隆さんをスタジオにお迎えしてロボットはどこまで進化するのか、高橋さんの追い求める未来会社のロボットなどについてお話を伺います。

高橋智隆（たかはし ともたか）1975年大阪府生まれ。

1998年、立命館大学産業社会部を卒業後、1年の浪人期間を経て京都大学工学部へ入学。2003年、京都大学を卒業後、京大ベンチャーインキュベーション入居第1号として、ロボットの技術開発・製作・デザインを手がける、ロボ・ガレージを創業。

2007年04月

「ドラえもんとは歩んだ26年」～涙と笑いのうちあけ話～

お話：大山のぶ代氏（女優）

国民的人気アニメ番組「ドラえもん」のドラえもん役を担当していた大山さんの声は、日本全国どこの方々にも大変親しまれてきました。大山さんは、ドラえもん役を勇退した現在も女優として活躍を続けています。今回は、大山のぶ代さんをスタジオにお迎えして、思い出話や裏話、そしてドラえもんに託した思いなどについて伺います。

大山のぶ代 1936年10月16日、東京生まれ。

都立三田高校在学中に劇団俳優座養成所入学。1956年に「この瞳」(NHK)でデビュー。主演作に「名犬ラッシー」「ブーフーウー」「ハリスの旋風」「江戸を斬る」「じゃがいも」など多数。



1979年4月～2005年3月まで、ドラえもんの声を26年間担当。2005年「放送ウーマン賞」受賞。

2007年03月

「内臓脂肪は命の危険信号！」

お話：栗原 毅 氏（東京女子医科大学教授・戸塚ロイヤルクリニック所長）

現代日本人にとって最大の敵は「肥満」だといわれています。肥満は、大きく「皮下脂肪型肥満」と「内臓脂肪型肥満」に分けられます。この2つは、脂肪のついている場所が違うだけでなく、肥満の性質や働きが異なり「内臓脂肪型肥満」のほうが病気になる危険度が高いといわれています。今回は、栗原毅さんをスタジオにお迎えして、「内臓脂肪型肥満」の危険性とその対処法などについて伺ってまいります。

2007年02月

「わが人生・わが落語」

お話：桂 歌丸 氏（落語家・落語芸術協会会長）

「大喜利」といえば寄席では余興の一つに過ぎませんが、人気テレビ番組「笑点」は、放送開始以来、高視聴率をとり続けています。

そのメンバーの一人である桂歌丸さんは、津々浦々の方に親しまれている落語家ですが、その半生は順風満帆な時ばかりではありませんでした。今回は、桂歌丸さんをスタジオにお迎えして、ご自身の半生を振り返っての楽しいお話を伺ってまいります。